

広報つくばみらい特別号【2023.3】

政策情報版

この冊子は、つくばみらい市が取り組んでいる事業や実績などを、市民の皆さんに幅広く知っていただくためのものです。

もっと
みらいへ
新しい
みらいへ



"みらい"につながる好循環なまち

自治体マネジメントで稼ぐつくばみらい市を推進

ふるさと納税を推進

返礼品数の拡大やクラウドファンディング型のふるさと納税の展開などにより、多くの寄附を頂いています。 図 秘書広報課

頂いた寄附金は、
こんな事業に使われています。

ふるさと納税
受け入れ額増加中！



妊産婦タクシー助成
※詳細は5ページ



ALTによる授業
※詳細は7ページ



いなひがし公園の整備
※詳細は9ページ



病院バスの運行
※詳細は10ページ

企業版ふるさと納税を活用

令和3年度から本格的に募集を始め、頂いた寄附金は農業支援事業、小学校の教育環境整備事業などに活用しています。また、株式会社一条工務店からの寄附で、市役所伊奈庁舎敷地内に「コミュニティスペースみらい」を開所し、市民交流スペースとして活用しています。 図 企画政策課

企業版ふるさと納税
受け入れ額増加中！



企業版ふるさと納税は、市の地方創生に関する事業に対し、市内に本社を立地していない企業が寄附を行った場合、税控除が受けられる制度です。

ネーミングライツ制度を導入

4つの公共施設のスポンサーと愛称が決定しました。
ネーミングライツ料は、施設の維持管理運営に活用しています。 図 財政課

ネーミングライツ料

3年間で **696万円** の収入



総合運動公園
→日本スポーツ振興パークみらい
※令和5年4月1日から



みらい平コミュニティセンター
→みらい平コミュニティセンター supported by 成島建設



つくばみらい市立図書館 (本館)
→みらい図書館 supported by 成島建設



福岡塚さくら公園
→YAWARA 福岡塚さくら公園

新たな賑わいを創出

スマートインターチェンジ (SIC) 周辺に賑わい拠点を整備

現在、SIC 周辺の現況調査を進めながら、将来的な土地利用における基本構想を策定中です。引き続き、地権者や周辺住民の方々に理解をいただきながら、広域的な賑わいを創出する拠点となるよう、事業を進めていきます。

図 プロジェクト推進課



きらくやまプロジェクトを始動

きらくやまふれあいの丘に、かつての活気と賑わいを取り戻し、子どもからお年寄りまで世代を超えて交流できる拠点として再生させるため、「きらくやまプロジェクト」を始動しました。令和 4 年度は、インクルーシブ遊具や大型遊具を設置します。 図 企画政策課

建設にはクラウドファンディングを活用!

目標金額
1億5,000万円

達成率
79.7%
(令和5年1月末時点)



休日はよく公園で遊んでいます。遊具ができれば、きらくやまふれあいの丘に家族で遊びに行きたいです!

はやし なかやま
林さん・中山さん親子



※画像はイメージです

子育て応援住宅を整備

既存地区の定住人口の増加や地域活性化を目指して、板橋地区に子育て世帯を中心とした中間層向けの集合住宅を整備します。住宅建設・維持管理費については、国の交付金や入居者からの家賃により、市の財政負担が発生しないことを予定しています。 図 開発指導課



- ・令和 6 年度完成予定
- ・民間のノウハウや資金を活用する PFI 手法で整備
- ・隣接地に認定こども園を誘致
- ・のびのび遊べる広場も整備

発展しつづけるまち

優良企業が本市へ進出

福岡工業団地第 2 期地区は、令和 4 年度から造成工事に着手するとともに、立地企業の誘致活動を行い、日本の産業を牽引する 5 社の立地が決定しました。 図 プロジェクト推進課

- 日清食品株式会社
- 株式会社クボタ
- トーイン株式会社
- 第一電材株式会社
- アミノ化学工業株式会社

東京圏の地価上昇率、トップ3を独占

1	つくばみらい市陽光台	10.8%
2	つくばみらい市富士見ヶ丘	10.4%
3	つくばみらい市紫峰ヶ丘	10.0%
4	千葉県浦安市舞浜	9.9%
5	千葉県浦安市日の出	9.4%

※令和 4 年 都道府県地価調査より

転入者、増えてます



夢と希望が抱ける「みらい型農業」

第2回米コンテストを開催

つくばみらい市のお米の消費拡大や生産者の生産意欲の向上を目的として、米コンテストを開催しています。第2回米コンテストでは、出品されたお米のうち、9割以上が良質米であり、市のお米の品質の良さを確認できました。 固 産業経済課

出品米のうち9割以上が
食味値 76 点以上の良質米

出品数
増加中!



第1回
58品

第2回
76品



令和7年には米・食味分析鑑定コンクール：国際大会を本市で開催予定

市独自の米の買い取り制度を導入

生産者の所得向上を目的に、米コンテストで一定の品質をクリアした出品者から市場価格に支援金を上乗せして、市がお米の買い取りを行いました。

- ： 買い取ったお米は、地産地消の推進を図るため、市民向けに販売したほか、ふるさと納税の返礼品として取り扱うことで、市のお米の消費拡大を図りました。 固 産業経済課

上乗せ額

最優秀賞	+ 5,000 円
優秀賞	+ 4,000 円
優良賞	+ 3,000 円
その他	+ 2,000 円

※一袋 (30kg) あたり



カメムシ防除薬剤 購入費用を補助

市のお米を守るため、カメムシ防除薬剤購入にかかる費用を補助しています。市全体で、良品質なお米の生産に取り組んでいます。 固 産業経済課

お米の品質
向上中!

令和3年度実績額

1,531 万 3 千円

令和4年度予算額

2,368 万 6 千円

令和2年度
77.5%

令和3年度
87.5%

令和4年度
90.3%

ふるさと納税寄附金
1,200 万円を活用

※ JA 集荷分の一等米の割合

新規就農者をサポート

新規就農者へのサポートとして、機械購入費や資材購入費などの補助や、就農後の経営が安定するまでの間の補助(最長3年間、年間最大150万円)を行っています。

また、市内で農業を始めたいと考える方に対し、国や県と連携して随時相談を受け付けています。

固 産業経済課

新規就農人数
3.5 倍に!

令和元年度
2人

令和2年度
3人

令和3年度
7人

就農相談件数
5 倍に!

令和元年度
5人

令和2年度
11人

令和3年度
25人

"あれも、これも"本気の子育てのまち

おやこ・まるまるサポートセンターで寄り添う支援

子育て支援室 BLOOM (センターに併設) 利用者の声



たかの
高野さん親子

週に3回以上は利用しています。
いろんなママさんが利用しているの
で、来るたびに交流が広がっていま
す。子育てで困りごとがあっても、
先生方や先輩ママに気軽に相談でき
るのが良いですね。



妊産婦のタクシー代を助成

通院などに係る妊産婦の負担を軽減し、安心して出産を迎えることができるよう、産科医療機関にタクシーで通院した際の料金の一部を助成しています。

☎ おやこ・まるまるサポートセンター

1回 **3,000円**上限
※15回まで

令和4年度利用回数
97回
※令和5年1月末時点

令和4年度
スタート

弁護士によるオンライン相談を実施

親権・養育費・面会交流などや、配偶者からのDVを受けていて離婚したい方などの相談を受け付けています。離婚の基礎知識や法律について、弁護士から必要なアドバイスを聞くことができます。

☎ おやこ・まるまるサポートセンター

相談は **無料**

令和4年度利用回数
14回
※令和5年1月末時点

令和4年度
スタート

緊急的な一時預かりを実施

原則1歳未満の乳児のいる家庭を対象に、育児疲れや産後うつ、病気治療を理由に、面談で必要と認められた家庭のお子さんをお預かりしています。

☎ おやこ・まるまるサポートセンター

令和4年度
スタート

ママ・パパかかりつけ

コーディネーターが寄り添いサポート

ママとパパに寄り添い、共に悩み、一緒に考えるパートナー的存在である「ママ・パパかかりつけコーディネーター」を、6カ所の子育て支援室に配置しています。

☎ おやこ・まるまるサポートセンター

令和4年度
拡充

安心して出産できる環境を整備

妊産婦全員が マル福の対象に

令和5年4月から妊産婦マル福の所得制限を廃止し、すべての妊産婦の健康保険適用にかかる医療費の自己負担金を助成します。

☎ 国保年金課

産婦人科 建設工事が開始

市が誘致した「医療法人修英会 つくばみらい遠藤レディースクリニック」の建設工事が、昨年12月から開始されました。

☎ 健康増進課



令和5年冬
開院予定!

次の時代を見据えた教育

みらい平地区に中学校を新設

みらい平地区を中心に、中学校の生徒数の増加が見込まれています。早期に子どもたちの教育環境を整え、安心して子育てできる環境を充実させるため、さまざまな教育ニーズや多目的な活動に柔軟に対応できる中学校を建設します。

☎ 学校総務課



安全で快適な教育環境を整備

老朽化している校舎やトイレなどの大規模改修や、児童・生徒数の変動による増築などを行い、学校安全、学校環境の向上を図っています。

☎ 学校総務課

全中学校 校舎のトイレ改修完了

みらい土曜塾を開催

小学4～6年生を対象に、市内4カ所の小学校で月2回「みらい土曜塾」を開催し、学力の向上と学習への興味・関心を高めます。

☎ 教育指導課



無料で学べます。

子どもたちをサポート



学習支援



ICTをベストミックスした教育

すべての市立小中学校にAIドリルを導入し、個別最適な学習を行っています。また、ICT支援員を増員することで、ICT機器をより効果的に活用した授業が行えると

ともに、先生が子どもたちと向き合う時間が増えるなど、働き方改革にも良い効果が現れています。

☎ 教育指導課

新たな授業支援アプリ導入

令和5年度から新しい授業支援アプリを導入します。



- ・先生の操作を子ども達のタブレットに共有
- ・一人ひとりの学習状況をモニタリング
- ・グループでの共同編集も可能

電子黒板導入

すべての市立小中学校の各教室に、電子黒板を導入しました。タブレット学習の成果を投影することや、画面に直接書き込みをすることができます。



導入数

小学校 203台

中学校 84台

幼少期からの英語力を向上

グローバル人材を育成するため、令和4年度でもALT（外国語指導助手）をさらに増員し、英語教育の充実を図っています。幼稚園でも、幼児期から英語に触れる環境を整えています。

園 教育指導課

● 幼稚園

ALTと歌ったり遊んだり、英語に触れる環境を整備

● 小学校

すべての外国語活動や外国語科で、英語専科教員とのチームティーチングを実施

● 中学校

「みらいイングリッシュパワーアップ講座」を開催

ALT
増員！

令和3年度
13人

令和4年度
16人

英語専科教員
増員！

令和3年度
2人

令和4年度
4人



みんな楽しそうに英語の授業を受けています。授業外でも簡単な英単語を自然に使うなど、英語が身近になったと感じます。

谷和原幼稚園 くぼた先生

英語の時間は、歌を歌ったりダンスをしたりできて楽しい！

かなり
金成さん



地域性を活かした スポーツの普及

市の特性を活かし、伊奈東中学校ではゴルフ部を創設し、つくばみらい市出身のプロゴルファーからの定期的な指導や市内ゴルフ場での練習を行っています。また、ゴルフによる地域活性化を図るため、日本ゴルフツアー機構（JGTO）と連携し、小学生を対象としたスナッグゴルフ大会を開催しています。

園 スポーツ推進室



スナッグゴルフ教室や市独自の大会も開催しています。

ゴルフ部部員
2.5倍に！

令和3年度
8人

令和4年度
21人



とみやまさとし
富山聡プロによる指導

通学ヘルメットをリニューアル

登下校時以外でもヘルメットを着用し、安全に自転車に乗ってもらうため、生徒の声を聴き「軽くて、通気性が良く、デザインにも考慮した」ヘルメットを、令和5年度、市内中学校に在学予定の全生徒に配布します。



※サンプルを着用しています

伊奈中学校の生徒の皆さん

今までのものよりも軽いのに、丈夫で安定感があります。通気性もバッチリで、カッコいいデザインなので満足です！

サマーシールドテントを緊急配備

熱中症対策として、高い遮熱・遮光効果を発揮する「サマーシールド」という素材を使用したテントを、すべての市立小中学校と総合運動公園に配備しました。

園 学校総務課・スポーツ推進室



配備数

22張

- ・テント外気温より約4度低い
- ・遮光効果 100%
- ・紫外線遮蔽率 99%以上

"ど真ん中"に市民がいるまち

皆さんの声をお聴きします

市民に寄り添うまちづくりの実現に向けて、市民懇談会を開催しています。市民の皆さんからまちづくりの提案や課題をお聴きし、これからのまちづくりに活かします。 固 地域推進課

皆さんの声の一例



家族が亡くなった後の、手続きの窓口を一本化してほしい。

実現!

おくやみ窓口を開設

身内の方を亡くし、悲しみの癒えぬうちにさまざまな手続きを行わなければならないご遺族の負担を少しでも減らせるように、毎週水曜日（祝日・年末年始を除く）におくやみ窓口を開設しています。 固 市民窓口課



担当課の異なるさまざまな手続を職員が事前に準備することで、ワンストップで行うことができます。

新型コロナウイルス感染症・物価高騰対応

国からの交付金（新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金）を活用し、支援しています。

財源は**全額**、
国からの交付金を活用

さらに…

全市民に3,000円分の商品券を配布



10% 上乘せ換金で
事業者も応援
事業費 1億9,530万5千円

新型コロナウイルス感染症の長期化に加え、物価高騰などの影響を受ける市民の皆さんの経済的負担を軽減するため、市内の利用登録店で利用できる生活応援商品券（1人あたり3,000円）を配布しました。 固 産業経済課

入学時に3万円を支給



事業費 5,143万3千円

令和5年度新生活を迎える、小学校・中学校・高校などに入学する年齢のお子さんのいる子育て世帯の経済的負担を軽減するため、3万円の給付金を支給しています。 固 こども課

農業経営者に3万円～40万円を支給



事業費 9,423万3千円

エネルギー価格や肥料価格の大幅な上昇の影響を受ける市内農業経営者の経営安定を図るため、農業収入額に応じて「農業経営者原油価格・物価高騰対策支援金」を支給しました。 固 産業経済課

保育従事者などに5万円を支給



事業費 3,845万円

保育所や幼稚園、児童クラブなどで、新型コロナウイルス感染症の感染リスクを抱えながらも職務を遂行している従事者に対し、5万円の応援金を支給しました。 固 こども課・学校総務課・生涯学習課

市民協働のまちづくりの実現に向けて

市民活動の支援拠点として 市民活動まちづくりセンターを開設

市民活動のための情報提供、スキルアップ講座の開催、相談業務、施設の提供などを行っています。

☎ 地域推進課

市民活動まちづくりセンター
登録団体数増加中！

令和3年度
37団体

令和4年度
(令和5年1月末時点)

67団体

新規立ち上げ団体数

11団体

※センター開所から



傾聴の輪を広げる活動をしています。このセンターは雰囲気が明るく開放的で、以前よりもメンバー同士の交流がさらに深まりました。また、ほかの団体の情報も知ることができ、団体同士の新たな交流が増えました。

傾聴ボランティア 傾聴ほほえみ
代表 ぼだいし 菩提寺さん

地域の方と一緒に伊奈東地区に 「いなひがし公園」を整備

地域の方々と話し合い、「地域拠点となる公園」や、「災害時の避難場所への活用」をイメージした公園になっています。整備費には、国の補助金のほか、ふるさと納税寄附金も活用しています。

☎ 都市計画課

整備費

5,140万3千円

国補助

2,220万円

ふるさと納税寄附金

2,920万3千円



※画像はイメージです

道路・公園・防犯灯などの 異常通報システムを構築



システムへの
アクセスはこちら

道路の陥没や公園遊具の破損などを、スマートフォンなどからその場で市役所に通報できます。

☎ 秘書広報課

通報件数

84件

※令和5年1月末時点

対応完了率

91.7%

(令和5年1月末時点)

「未来をちょっと楽しくする。」 MIRAI ART FESTIVAL を開催

令和4年度のシティプロモーションでは、国内外のアーティストを招き、市内の子どもたちが、新たな街のシンボルとなるアートをつくりました。この街で暮らす今この瞬間をアートで彩り、未来の私たちの笑顔に変えていきます。

さあ、一緒に「100年間、愛される地元をつくろう。」そして、この言葉を胸を張って語りましょう。

「I LIVE IN TSUKUBAMIRAI.」

☎ 秘書広報課



参加児童数

149人

イベント来場者数

718人



ドキュメンタリー
映像はこちら



第2次総合計画後期基本計画を 策定しています

令和5～9年度の新たなまちづくりの指針となる「第2次総合計画後期基本計画」の策定を、市民の皆さんと一緒に進めてきました。皆さんから頂いたご意見やご提案が反映された計画になっています。

☎ 企画政策課



市民ワークショップを
開催しました。

"人に、社会に" やさしいまち

交通利便性向上のため、地域公共交通施策を推進

病院バス利用者、増えてます

総合病院への移動手段確保として、筑波学園病院、JA とりで総合医療センターへの病院バスを無料で運行しています。通院している方だけでなくお見舞いの方など、幅広い方々にご利用いただいています。 閩 都市計画課

利用者数
増加中!

令和2年度
1,104人



令和3年度
1,872人

※筑波学園病院と JA とりで総合医療センターの利用者数を合算
※ JA とりで総合医療センターは令和3年7月1日から運行開始

慶友会シャトル便を運行

医療法人慶友会シャトル便の運行に関する覚書を締結し、守谷慶友病院～ひがしクリニック慶友～伊奈クリニック間を走るシャトル便が、伊奈庁舎を経由することになりました。 閩 都市計画課



一日の運行数

9便

※伊奈クリニック行は8便

移動スーパーがより便利に

株式会社カスミと連携し、移動スーパーを運行しています。野菜や魚、肉などの生鮮食品や日用品など約400品目を取り揃え、ご利用・ご要望の多かった地区を中心に市内62カ所（各停車場所に週1回）を巡回しています。 閩 介護福祉課

利用者数
増加中!

令和2年度
8,703人



年間約1万人が利用

令和3年度
9,645人



停車場所数

令和2年度 58カ所

令和3年度 61カ所

令和4年度 62カ所

サポカー補助制度を創設

高齢者ドライバーの自動車運転誤操作による交通事故を減らすため、令和4年度から市独自の高齢者安全運転支援装置整備費補助金を創設し、踏み間違えなどによる事故の防止を図っています。 閩 防災課

補助金

最大3万円(経費の1/2)

※対象年齢は70歳以上

誰一人取り残さないデジタル社会を目指して

スマホ講習でデジタル化への不安を解消

みらい平市民センターや市内3カ所のコミュニティセンターで、市内の携帯販売事業者と連携して、スマートフォンの操作方法などの講習を行いました。令和4年8月に開催した講習では、全12回で129人の方が参加しました。 閩 デジタル推進室

参加者アンケート

「良い内容だった」

95.0%



スマホ購入費を補助

市内の指定販売店でスマートフォンを初めて購入し、スマホ講座の受講や指定アプリなどの登録をした65歳以上の方に、購入費を助成しました。行政手続きの電子申請の利用やキャッシュレス決済などにより、新しい生活様式の実現と世代間のデジタルデバイドの解消を図っていきます。 閩 介護福祉課

利用者数

最大2万円の補助

76人

※令和5年1月末時点

安心して暮らせる環境を整備

つくばみらい市 × 高砂熱学工業株式会社

高砂熱学工業株式会社との 連携で社会課題を解決



この賞は、全国各地でそれぞれのところをよせる地域「ふるさと」をより良くしようと頑張る団体、個人を表彰するものです。

「教育」「防災」「コミュニティ」「エネルギー」の各分野で相互に連携して取り組むことを目的に、包括連携協定を締結し、さまざまな取り組みを行っています。

この取り組みが評価され、市と高砂熱学工業株式会社は、総務省主催の「令和4年度ふるさとづくり大賞」において地方自治体表彰（総務大臣表彰）を受賞しました。今後さらに連携を深め、地域課題の解決に取り組めます。

☑ 企画政策課

防災分野では…

● 体育館用空調換気システムを開発

通常時にも避難所利用時にも対応できる熱中症・防寒・感染対策を兼ね備えた「体育館用空調換気システム」の開発を進めています。

☑ 防災課

応急仮設住宅の社会的備蓄活動を推進

株式会社一条工務店・一般社団法人日本モバイル建築協会が進める災害時の応急仮設住宅の社会的備蓄活動の一環として、株式会社一条工務店から木造のモバイル建築ユニットの寄附を頂くとともに、防災に関する2つの協定を締結しました。

☑ 企画政策課・防災課



平常時は市民交流スペースとして活用

避難所環境を改善

避難所となる総合運動公園体育館と青少年研修道場に、空調設備を設置しました。適切な温度管理を行い、避難者の健康被害のリスクを軽減します。

☑ 防災課・生涯学習課



非常用発電装置も備え、大規模な停電が発生した場合でも安心して避難生活を送ることができます。

民間事業者との協定で災害に備える

災害に強いまちづくりを推進するため、さまざまな民間事業者と災害協定を締結し、災害が起きた際の連携・協力体制を強化しています。令和4年度は3件締結しました。

☑ 防災課

● 株式会社一条工務店 / 日本モバイル建築協会
地方創生および地域防災力の向上、モバイル建築を活用した災害時における応急仮設住宅などの建設

● 三協フロンテア株式会社
災害時における物資（ユニットハウスなど）の供給

● 一般社団法人日本ドローン協会茨城支部 / リライト・ドローンベース・ジャパン
無人航空機による災害対策活動



災害協定数
58件

病院バスや屋外へ AED を設置

市民の皆さんが安心して通院できるように、病院バスに AED を設置しています。また、総合運動公園の野球場と多目的広場の2カ所にも AED を設置し、屋外でもすぐに AED を使用した救命措置を行うことができます。

☑ 防災課・都市計画課・生涯学習課



市内 AED 設置数
49台
※病院バスを含む

安全安心な生活環境のため、空き家対策を推進

利活用

空き家バンクの利用で補助金を支給



家財処分費補助金

最大**10万円**(経費の1/2)

リフォーム費補助金

最大**50万円**(経費の1/2)

空き家バンク申請数

令和3年度 5件

令和4年度 **7件**

※令和5年1月末時点

空き家バンク売買成約率

87.5%

※令和5年1月末時点

図 開発指導課

予防

空き家相談会でお悩みを解決

茨城県建築士会、茨城司法書士会、茨城県宅地建物取引業協会と協定を締結し、専門的な立場から空き家所有者の不安や悩みを解決できるよう、相談会を開催しています。

図 開発指導課

令和4年度相談件数

11件

年**2回**実施

適正管理

空き家解体の経済的負担を軽減

老朽化した空き家を解体した場合、翌年度から3年間、土地の固定資産税を減免します。

図 開発指導課



住宅用地に対する課税標準の特例を適用

空き家解体補助金

最大**30万円**(経費の1/2)

県内初!

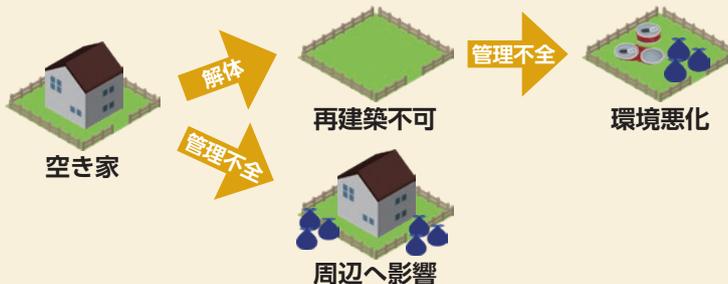
空き家解体後の再建築の基準が緩和されました

市街化調整区域では再建築の要件が限定され、新しい住宅を建築できない場合があります。そこで、空き家を解体した後の更地に、集落の出身者要件などを問うことなく、再建築ができるように、県に対して新たな基準を設

けてもらうように要請したところ「空き家解体後の再建築の基準緩和」の判断基準が定められ、令和4年度から運用を開始しました。

図 開発指導課

基準緩和前



基準緩和後



市街化調整区域とは、無秩序に建築物が乱立しないように、開発・建築を抑制する区域のことです。

※各適用を受けるには、要件を満たす必要があります。事前に必ず開発指導課へご相談ください。

社会福祉協議会と連携したサポート

令和4年度事業費

340万1千円

成年後見支援センターを開設



令和4年度相談件数

216件

※令和5年1月末時点

令和4年4月に、伊奈庁舎1階に成年後見支援センターを開設しました。誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるように、成年後見制度についての相談や利用のお手伝いをします。 関 社会福祉課

こども食堂



国の交付金

170万円を活用

ふるさと納税寄附金

100万円を活用

利用者数

令和3年度 4,083食

令和4年度 **4,766食**

※令和5年1月末時点

地域の子どもから大人まで、幅広い世代が集まる場となっています。令和5年2月に、空き家を活用したこども食堂を豊地区にオープンしました。市内7カ所毎月1回実施しています。 関 社会福祉課

ファミリーサポートセンター事業



昨年度から
10%増!

利用会員数

令和3年度 208人

令和4年度 **234人**

協力会員数

令和3年度 42人

令和4年度 **47人**

※いずれも令和5年1月末時点

安心して子育てができるように地域ぐるみで支え合うことを目的として、子育ての援助を受けたい方と子育ての援助を行いたい方を繋いでいます。

関 おやこ・まるまるサポートセンター

元気アップみらい教室



令和4年度利用者数

15人

※令和5年1月末時点

要支援認定者などの方に、短期集中的に個別のリハビリメニューなどに取り組むことで、自立した日常生活が過ごせるように支援しています。理学療法士や歯科衛生士、管理栄養士が参加者一人ひとりをサポートします。

関 介護福祉課

ウクライナを支援

世界平和を脅かすロシアに対する抗議文、ウクライナ人道支援のための募金活動、市内に住むウクライナ国籍の方の家族の保護のため、市への避難を誘導し、出入国在留管理庁での在留資格変更手続きをはじめとする、避難民に寄り添ったきめ細やかな支援を行いました。また、本市を含む近隣自治体4市でウクライナ避難民を支える広域ネットワークの発足など、ウクライナへのサポートを幅広く行っています。 関 秘書広報課



人道支援募金 (ウクライナ大使館へ)

129万3,004円

受入れ支援金

(ウクライナ避難民受入れ世帯へ)

30万円

4市連携ウクライナ避難民支援
ひまわり募金 (事務局へ)

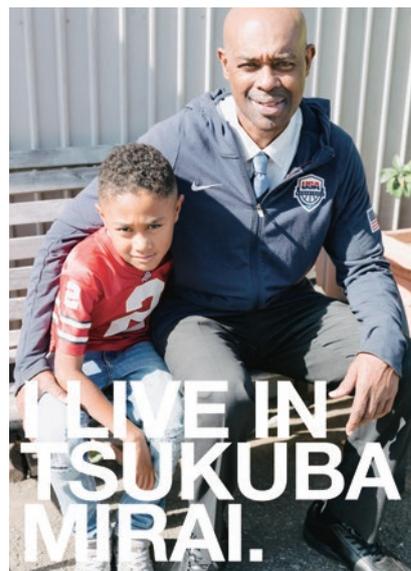
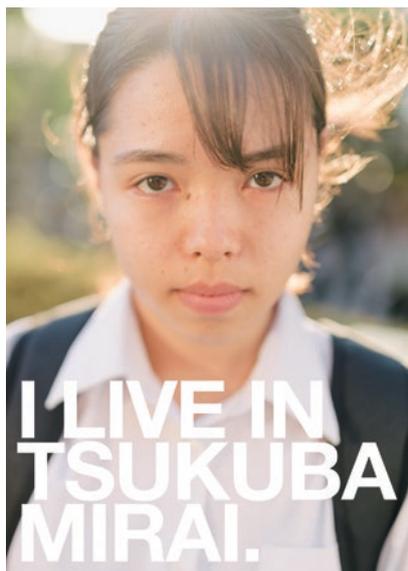
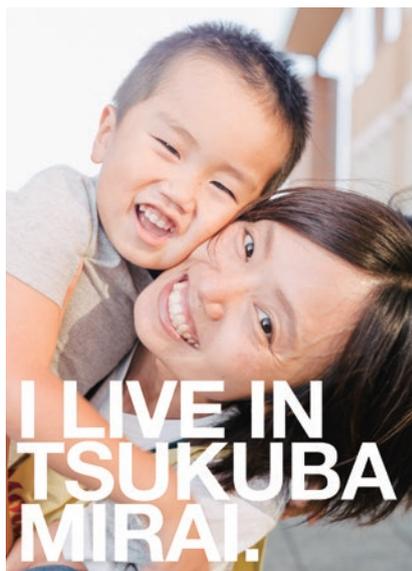
4万5,204円

ひまわり募金は、伊奈・谷和原庁舎、みらい平市民センター、きらくやまふれあいの丘で実施しています。

I LIVE IN TSUKUBA MIRAI.

100年間、愛される地元をつくろう。

市では、I LIVE IN TSUKUBAMIRAI. を合言葉に、市民の皆さんがつくばみらいに住んでいることを誇りに思ってもらえるよう、プロモーション活動を行っています。100人の市民がモデルのポスターなど、詳しくは右のQRコードへ。



▶編集・発行 茨城県つくばみらい市秘書広報課

〒300 - 2395 茨城県つくばみらい市福田 195

☎ 0297 - 58 - 2111 / FAX 0297 - 58 - 5611

メールアドレス：infot@city.tsukubamirai.lg.jp

ホームページ：https://www.city.tsukubamirai.lg.jp

▶発行日 2023年（令和5年）3月1日（水）